

テレビ広報
“さわやか宇治”
 森と湖に親しむ旬間～市民ふれあいまつり～
8月11日(土) 午前10時15分
 から15分間
 KBS京都TV・UHF34ch

宇治市政だより

8/11
 平成2年
 (1990年)
 第890号

発行 京都府宇治市
 〒611 京都府宇治市
 宇治琵琶33番地
 電話 (0774)22-3141
 編集 広報課
 ●毎月1日・11日・21日発行

二度と戦争をしてはいけない

市内の小・中学生 広島で平和の大切さを学ぶ

宇治市平和都市推進協議会では、市内の小学六年生と中学一年生の二十五人で広島訪問団を結成。七月三十一日の二日間、広島を訪れた一行は、被爆体験者の講話や原爆ドーム・広島平和記念館などの見学を通して、戦争や原子爆弾の悲惨さと、平和の大切さを学びました。



広島平和記念公園の一角で、被爆体験者から、当時の悲惨な思い出や「人ひとりのお家から世界へ平和の輪を広げてほしい」との話を聞く(写真左)



「原爆で、皆さへ同じ、年ごろの子ども大勢死にました。黒い煙の死体や血まのけが人が多く見えた。血や死体を臭うとも感じました。」

「原爆で、皆さへ同じ、年ごろの子ども大勢死にました。黒い煙の死体や血まのけが人が多く見えた。血や死体を臭うとも感じました。」

「原爆で、皆さへ同じ、年ごろの子ども大勢死にました。黒い煙の死体や血まのけが人が多く見えた。血や死体を臭うとも感じました。」



原爆資料館で、被爆当時の悲惨な状況を再現した展示に、思わず「これはひどい」と声をあげた写真(右)。被爆体験者の講話(じつ)と聞き入る写真(左)。被爆された町なみの再現(パノラマ)「町がなくなると」とも(写真左)



▲広島平和記念公園の中にある「原爆の子の像」に、平盛小学校や訪問団の子どもたちが折った千羽づるを供える



▲子どもたちの代表は、原爆病院へお見舞いに



▶西小倉小学校の子どもたちから折った千羽づるを「原爆資料館」の代表者に渡す



◆この宇治市政だよりは、再生紙を使っています。限りある資源を大切に◆

8月15日

平和祈念集会を開催

正午から
 1分間の
 黙とうを

市平和都市推進協議会では、八月十五日(木)午前十一時半から、世界の恒久平和を願う、戦争や原爆の犠牲者のいのちを祈って、犠牲者への慰霊と、平和祈念集会を開催します。市民の皆さんもぜひご参加ください。また、同日の正午から一分間、市役所屋上の希望の鐘を鳴らします。黙とうをお願いします。

(企画管理部総務課)

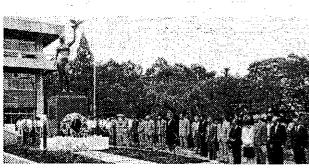


▲市職員の手で、きれいに化粧直された平和の像

平和の像を化粧直し

終戦の日を前に七、八月二日、市役所玄関前の平和の像の化粧直しが行われ、一年間の汚れがきれいになりました。

この平和の像は、市平和都市推進協議会が、新たな平和のシンボルとして、市民の皆さんからの募金によって、昭和六十三年八月に建てられました。



▶世界の恒久平和を願う、戦争犠牲者のいのちを祈って、一分間の黙とう(折った千羽づるの飾り)

平和祈念映画会

千羽づる
 午後1時・3時40分・6時20分
 都市スラムの解放
 午後2時45分・5時25分
 文化センター小ホール
 8月12日(日)

平和図書展

戦時下の子どもたちの生活を綴った本、約200冊を展示
 中央図書館
 午前9時・午後5時 月曜休館
 8月30日(木)まで

平和のための絵画・写真展

友好3都市子ども絵画展
 メワラエリア・咸陽・カムループス市
 写真展 ●原爆写真展 ●子どもたちの見た広島
 中央公民館展示集会室・ロビー
 8月12日(日)～18日(土) <13日(月)は休館>

8月の平和専業

いずれも入場無料です

